

## 第1回三重県観光誘客推進本部会議 概要

1 開催日時：令和5年4月21日（金）12時50分から13時05分まで

2 議事概要：以下のとおり

（増田観光部長）

- ・ただいまから、令和5年度第1回三重県観光誘客推進本部会議を開催する。「令和5年度三重県観光指針（案）」と、次期「三重県観光振興基本計画」の策定に向けた基本的な事項やスケジュールについて、ご確認いただきたい。
- ・2つの議題について、事務局からまとめて説明させていただく。

※資料1～3について、事務局（生川観光部副部長）から説明。

（若尾県土整備部長）

- ・高速道路は観光振興にとって強力なインフラである。特に南部地域では紀勢道が重要であり、整備を推進している。紀勢道が和歌山県までつながると、周遊が可能となる。紀勢道を活用した観光振興を検討いただきたい。

（清水地域連携・交通部長）

- ・観光地の二次交通の確保について、特に夜間の移動手段の確保が課題であると認識している。地域連携・交通部において伊勢市で夜間にタクシーを増車し、需要がどれくらいあるのかを調べる実証事業を予定している。タクシーを利用させていただくにあたり、実際に手配をする宿泊事業者や飲食店等にも周知を図り、利用数等を調査したいと思っているので、より一層密に連携をお願いしたい。

（増田観光部長）

- ・高速道路については、紀勢道も含め、東海環状の西回りも開通見通しであることから、アクセスがかなり良くなると予想しているので、それを見通した観光施策を考えていきたい。
- ・二次交通の問題については、当部としても悩ましい問題であると思っているので、ぜひ連携していきたい。
- ・それでは、「令和5年度三重県観光指針」について、決定とさせていただく。最後に知事からご発言をお願いしたい。

（一見知事）

- ・来月8日からコロナが第5類に位置付けられ、経済が本格的に回ることにな

る。さまざまな分野で反転攻勢の動きがあると思うが、特に観光に注力してしっかりやっていきたい。

- 観光は経済の回復に寄与するだけでなく、人口減少対策にも不可欠な要素。
- 三重県は、観光資源が豊富であるという意識をもって取り組んでいただきたい。
- 文化、交通、産業、公共インフラ、スポーツといったさまざまなものが観光資源になり得ることに加え、観光の重要な要素であるため、本指針に基づいて、各部局とも観光の振興に協力をしてもらいたい。
- 今年6月のG7交通大臣会合及び2025年の大阪・関西万博は三重県をアピールする好機であり、これらの機会をしっかりと捉えるとともに、それ以外の部分でも三重県を積極的に宣伝するという意識を持ってやっていただきたい。